

作成日：2026 年 3 月 14 日（第 1 版）

西暦 2005 年 1 月～2022 年 12 月にユーイング肉腫と診断された方へ
「ユーイング肉腫による脊髄圧迫の予後の解析」へのご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

ユーイング肉腫（Ewing sarcoma）は、主に子供や若者に発生する、骨や軟部組織のがんで、小児の悪性腫瘍の約 2%を占めます。ユーイング肉腫の発生部位として、四肢骨が 50%、骨盤が 20%、脊椎が 10%の割合と報告されています。一方、脊椎に腫瘍が発生する場合、脊椎損傷と呼ばれる麻痺が起き、日常生活に深刻な影響を与えることがあります。また、転移病変により脊椎に病変が生じた場合にも、同様の脊椎損傷が起こることがあります。しかし、脊椎損傷に対する治療法の解析や機能的な予後についてはまだよくわかっていません。この研究では、脊椎にできたユーイング肉腫（原発または転移による）に注目し、脊椎損傷の治療法・機能的な予後を調べることを目的としています。

【研究の対象となる方】

2005 年 1 月～2022 年 12 月に当院を受診し、ユーイング肉腫と診断され、脊椎に病変を認め、脊椎損傷症状を伴う患者さんを対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦 2027 年 12 月 31 日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆さまへ”】

URL：https://ncu-cr.jp/patient

2 研究の方法

本研究では脊椎に発生した原発もしくは転移性のユーイング肉腫による脊椎損傷の治療法・機能的な機能予後を解析することが目的です。本研究は、脊椎損傷後の機能が、治療方法（手術・放射線）によりどのように影響を受けるかを Frankel スコアと呼ばれる、脊椎損傷の度合いを示すスコアに着目して解析いたします。

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。共

同研究機関において収集した情報は、REDCap（研究データの収集・管理システム）もしくは電子メール等により研究代表機関である名古屋市立大学に提供します。名古屋市立大学においてデータをとりまとめ、統計解析を行います。提供された情報は、名古屋市立大学が責任を持って管理します。

3 この研究で用いるあなた情報の内容について

この研究では、以下の診療情報を利用します。

背景情報: 年齢、性別、身長・体重、現病歴、既往歴、家族歴、遠隔転移の有無および部位

原発情報: 原発巣の部位、大きさ、臨床症状

初診時の状況: 他院での治療歴（生検の有無、切除の有無、化学療法の有無、腫瘍残存の有無）

薬物療法に関する治療歴: 治療薬、投与量、治療開始日、治療終了日、施行回数

手術に関する情報: 切除方法、再建方法、根治度、合併症の有無

画像検査所見: 初回化学療法の最良効果判定

病理学的所見: 腫瘍壊死率、切除マージン

- ・ 脊髄損傷に関する情報: 脊髄損傷発生部位、発生日、脊髄損傷に対する治療（手術、放射線など）、Frankel 分類の推移

- ・ 治療経過: 初回遠隔転移の有無・発生日、初回遠隔転移発生時の症状、初回局所再発の有無・発生日、最終観察時の状況

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学を中心として、複数の研究機関が共同で実施します。実施体制は以下の通りです。

	研究機関の名称	研究責任者
研究代表機関	名古屋市立大学	相羽 久輝 (研究代表者)
共同研究期間	国立がん研究センター中央病院	米盛 勸
	三重大学医学部附属病院	中村 知樹
	福島県立医科大学	松本 嘉寛
	金沢大学	三輪 真嗣
	奈良県立医科大学	塚本 真治
	岡山大学	中田英二
	九州大学病院	横山信彦

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。あなたの氏名等とこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情

報を頂いた各機関で厳重に管理し、個人を特定する情報を外部に提供することはありません。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表する際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は特に資金源を必要とせず、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることや、他の研究機関へ提供されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科整形外科学

電話番号： 052-853-8236

（対応可能な時間帯） 平日 9 時から 17 時まで

対応者： 相羽久輝

国立がん研究センター中央病院

研究事務局： 腫瘍内科 小島 勇貴

連絡先：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511（代）

【研究代表機関】

研究機関名： 名古屋市立大学大学院医学研究科

研究代表者： 整形外科学 相羽久輝

連絡先： 052-853-8236